

2023年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 特定地域における聴覚検診ときこえの低下の自覚について
— 年代間の意識差の検討 —

研究の目的

年齢ともに聞こえが悪いと訴える方は多くなりますが、実際の聴力検査では難聴はごく軽度のこともしばしばみられます。このことから年齢が進むにつれ難聴の自覚とのずれが見られるようになってくることが予想されます。

本研究では、一般地域にお住いの方を対象とした健診における聴力データを用いて、アンケートによる難聴や耳鳴の自覚症状との関連性を調査し、年代間の意識差を検討することを目的とします。また、健診で得られた数多くのデータを用いて加齢性難聴に関連する要因も検討します。

これにより加齢性難聴の早期発見のみならず、難聴の自覚を持つことが早期の補聴器装用やコミュニケーション方法の工夫により生活の質（QOL）を高めることに貢献できると考えられます。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2026年 3月 31日

対象となる方： 2023年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方
利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である木村恵の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2023-007-1）」において2023年に取得された以下のデータ

受付番号、性別、年齢

聴力（純音聴力検査）

聴力ブースアンケート（難聴及び耳鳴の自覚度の調査、耳疾患の既往）

具体的には、聴力レベルと難聴の自覚症状や耳鳴の有無などの関連するものを解析して抽出します。また上記に示したデータの中の要因が加齢性難聴に関連する要因・可能性についても検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：023-007-1）」で収集し、加工（氏

名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与)され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 医療技術部リハビリテーション部 言語聴覚士 木村 恵 住所 〒036-8563 弘前市本町 53 電話 0172-39-5277 Email m_kimura@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康未来イノベーションセンター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205